

翼

つばさ

未来へ羽ばたけ！ 横芝光町

町長 佐藤 晴彦

減税の断行

世界経済の悪化に伴い町民の皆さんの所得が減ることにより、当町の税収は年々減少傾向にあります。町民の暮らしを守るために、平成21年度から唯一町単独で調整のできる国民健康保険税の資産割を全廃したことにより、被保険者の負担を減らすことができました。

税源移譲の時期と重なって気が付きにくいところですが、特に資産が



あつても収入の少ない高齢者に有利となりました。

行財政改革の成果

災害等で予定外に大きな出費が必要になったときや、予算を作るときに財源不足が生じた場合に手当てするため、積み立てておく財政調整基金は合併当初は約5億7千万円でした。しかしながら、積極的な行財政改革を断行することにより、平成21年度末の財政調整基金の残高見込は約10億7千5百万円となりました。

また、町立東陽病院の借入金の大部分を占める、病院建設時に国から借りた借入金の残金約14億円を民間金融機関の有利な金利の借入金に借り替えて、償還期間10年間で約5億4千万円が削減できました。



職員の削減

当初の目標でありました、4年間で20人(△5.9%)の削減計画でありましたが、住民サービスの向上を図りながら、平成21年度末では、計画を大きく上回る35人(10.3%)の削減がなされました。

町の借入金総額

合併以来、旧町時代から引き継いだ借入金や、

新町建設計画に沿って行ってきた事業に費やした平成20年度末の起債発行額(町の借入金)の総額は約94億円です。しかしながら、この内の約7割の約63億円は、地方交付税や県補助金が見込めるため差し引き約31億円が町の税収で賄うべき借金残高であると考えております。

未来を見据えて

以上のようにこの4年間しっかりと行財政改革に取り組んで参りましたが、今後の経済状況や国の財政状況が極めて悪化している中、決して安心できる状況ではありません。

今後も更なる行財政改革を断行して、将来を見据え、しっかりと取り組んでまいることが必要であると考えます。

4年間本当にありがとうございました。